



アイムポッシブル
国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版教員研修について

アイムポッシブル

パラリンピック教育推進事業として、I'mPOSSIBLE日本版事務局では、都道府県・市区町村の教育委員会からのリクエストに応じ、研修講座を開催しています。

アイムポッシブル

『I'mPOSSIBLE』日本版は、パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子供達に与える教材で、「東京2020教育プログラム（愛称：ようい、ドン!）」のパラリンピック教材としても位置付けられています。本教材の教育的な意義の理解を深めていただくと共に、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を展開するためのアイデアなどを提供します。

◇皆さんの「どうしたら??」の力になります。以下のような方が対象です。

- パラリンピックについて、もっと詳しく知りたい方
- パラリンピック教育で、何をすればいいのか迷っている方
- パラリンピックについて、どう教えていいのか悩んでいる方
- パラリンピック教育を担当することに不安を抱いている方

◇研修後には、以下のようなご感想をいただいています。

- スポーツを体験し、パラリンピックの基本を知り、その意義や価値について考えることができるので、総合的な学習の時間にしっかり取り組みたいと思った。
- これまで、アスリートに来校いただいたことはあったが、大切なのは当日だけではなく、事前と事後であることがわかった。
- 日常の活動や、今行っている学習につなげていけると思った。
- 無理ない形で取り入れることができる、工夫のしやすい教材なので、市教委としても実践例や具体的な指導方法を周知していきたいと思った。

◇研修会は、リクエストに応じ、様々な形態で展開することが可能です。

【2 時間半コースの例】

◆ 実技研修

講師の解説のもと、授業で実技を教える際の準備の仕方や指導のポイントを、皆さんに実際に体験していただきながら学んでいただきます。

ゴールボール (40 分)

ボッチャ (20 分)

◆ 休憩 (10 分)

◆ 座学研修 (55 分)

教材の概要やパラリンピック教育の意義、『I'mPOSSIBLE』を使用する際のポイントなどを講義形式で学んでいただきます。

◆ ディスカッションと質疑応答(20 分)

どのように教材を使用したいか考え、グループで共有しアドバイスしあうことで、実際に教材を使用するイメージを具体的につくることができます。課題を明確にしたり、他校での事例を元に解決策を探ることもできます。

◆ アンケート(5 分)

【1 時間半コースの例】

◆ 座学研修 (65 分)

教材の概要やパラリンピック教育の意義、『I'mPOSSIBLE』を使用する際のポイントなどを講義形式で学んでいただきます。

◆ ディスカッションと質疑応答(20 分)

どのように教材を使用したいか考え、グループで共有しアドバイスしあうことで、実際に教材を使用するイメージを具体的につくることができます。課題を明確にしたり、他校での事例を元に解決策を探ることもできます。

◆ アンケート(5 分)

教員研修に関するお問合せ

I'mPOSSIBLE 日本版事務局

(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会／日本財団パラリンピックサポートセンター)

担当 後藤・小柳

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 4 階 日本財団パラリンピックサポートセンター内

TEL: 03-6229-5404 / 3721 / FAX: 03-6229-3722 / Email: iampossible@parasapo.tokyo

※お問い合わせは、原則メールでお願いいたします。